

## 第 6 回肩機能研究会のお知らせ

テーマ：投球肩障害へのアプローチ – 「普遍性と個別性」

投球肩・肘障害、どうもわかりにくいと思いませんか。その理由は野球選手を診察する際、「普遍性」(共通性)によって選手を診ているからではないでしょうか。病院で診察する際、選手の病態を把握し、症状軽減し早期復帰を目指します。しかし、あくまで **evidence** に基づいた診察・治療およびデータの蓄積を目的とした「普遍性」に基づいています。一方、現場では選手のパフォーマンス向上や怪我の回復のため、選手 1 人 1 人の「個別性」(個別特性)を大切にしたいトレーニング、練習に励みます。このような異なる視点のため、臨床家には「個別性」を把握することはむずかしく、普遍性より個別性を重要視する現場では、現場と病院の思考法(普遍性)に戸惑いを感じる場合があります。今後 10 年、投球肩・肘障害の診察・治療は、「普遍性」から「個別性」にシフトすると感じています。そして、それは病院と現場のリンクであり、情報の共有を意味します。

臨床家であるわれわれ自ら、視点を「普遍性」から「個別性」へシフトし、再度投球肩・肘障害にアプローチしてはどうでしょうか。選手の怪我に繋がる日頃からの立位姿勢、コンディショニング不足や不良、投球フォーム、選手の個別特性、パフォーマンスを改善するポイント等、これらを見抜く眼力を養う方法論を構築しなくてはなりません。今回の講演が参加者の皆様にとって、「普遍性」から「個別性」へのパラダイムシフトになれば幸いです。

日 時：平成 23 年 11 月 26 日(土) 午後 3 時 30 分から

場 所：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社(千代田ファーストビル西館)

参加費：5,000 円

参加人数：50 名

講演者

15:30～15:50 イン트로

浜田純一郎 (桑野協立病院 整形外科)

15:50～16:30 投球フォームの基礎

鈴木 章 (国立スポーツ科学センター)

16:40～17:40 臨床と現場—トップレベルの野球選手を相手にして

菊川和彦 (マツダ株式会社 マツダ病院)

17:50～18:50 選手の個別特性を見抜くために

山口光國 (セララボ)

参加希望の方は下記の連絡先（遠藤）までご連絡をお願いします。なお、懇親会案内や講演内容の変更などありましたら参加者にご連絡させていただきます。

申込方法は件名を第 6 回肩機能研究会申し込みとし、本文に①氏名、②所属、③職種、④電話、⑤E-mail アドレス（PC）、⑥領収書の有無を記載してください。

<事務局>

浜田純一郎 桑野協立病院 整形外科

<お問い合わせ及び申し込み先>

遠藤和博 桑野協立病院 リハビリテーション科

〒 963-8034 福島県郡山市島 2-9-18

TEL 024-933-5422 FAX 024-923-6169

Mail Address : kz\_endo1983@yahoo.co.jp

